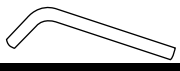
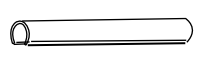
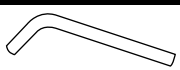
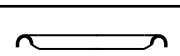
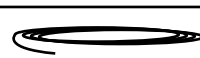
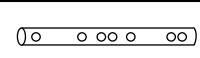
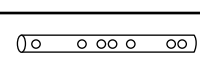
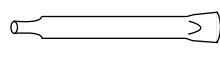
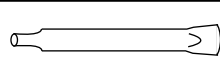
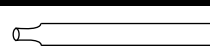
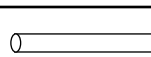
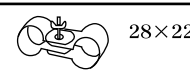
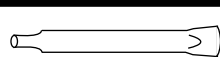
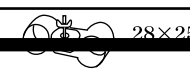
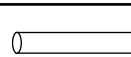
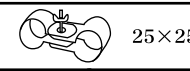
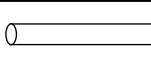
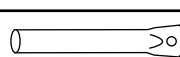
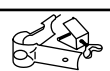
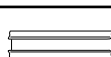
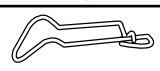
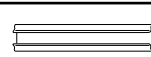
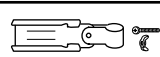
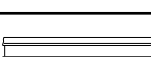
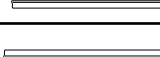
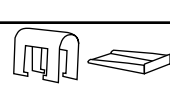
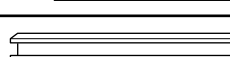
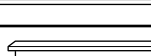
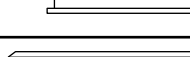
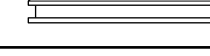
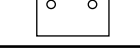
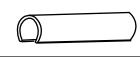
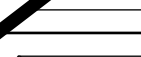
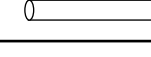
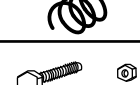
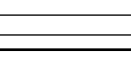
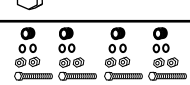
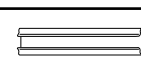
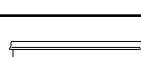
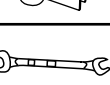
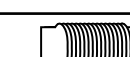


No.	品名	規格	数量	形 状	No.	品名	規格	数量	形 状
A-1/A-2梱包				A-1袋に11本、 A-2袋に11本入ってます	E ケースつづき				
①	アーチ パイプ	25×310A mm cm	11 11		30	ビニバー	288 cm	6	
A-3/A-4梱包				A-3袋に10本+カラー番線1本 A-4袋に10本+カラー番線1本	31	ロング パッカー	19×180 mm cm	18	
②	アーチ パイプ	25×310A mm cm	10 10		32	扉パイプ	19×100 mm cm	16	
③	カラー番線	#8×11m	2		33	扉パイプ	19×180 mm cm	4	
B-1ケース					34	扉パイプ	19×180 mm cm	4	
④	脚パイプ	25×206SP mm cm	21		F ケース				
B-2梱ケース					35	天ビニール	0.1×7.4×14.5 mm m m	1	
⑤	脚パイプ	25×206SP mm cm	21		36	側ビニール	0.1×1.85×16.5 mm m m	2	
C 梱ケース					37	扉ビニール	0.1×2.0×1.3 mm m m	4	
⑥	横通し パイプ	22×186S mm cm	25		G ケース				
⑦	横通し パイプ	22×100 mm cm	5		38	外ジョイント	28×180	21	
D ケース					39	ユニバーサル ジョイント	28×22	2	 28×22刻印
⑧	前棲パイプ	25×206SP mm cm	8		40	ユニバーサル ジョイント	28×25	1	 28×25刻印
⑨	前棲パイプ	25×68 mm cm	4		41	ユニバーサル ジョイント	25×25	8	 25×25刻印
⑩	前棲パイプ	25×116 mm cm	4		42	ユニバーサル ジョイント	28	2	
⑪	ツカパイプ	25×123 mm cm	2		43	Tバンド	25×22	8	
⑫	ビニバー	114 cm	2		44	フック バンド	28×22 25×22兼用	95	
⑬	ビニバー	140 cm	2		45	妻金具	25mm用	32	
⑭	ビニバー	154 cm	4		46	ビニバー 継手		6	
⑮	ビニバー	168.5 cm	4		47	クランプ	25用	28	
⑯	ビニバー	176 cm	10		48	レール 上金具		10	 ナット 20個
⑰	レール(上)	40×20×200 mm mm cm	4		49	レール 下金具		8	 ナット 16個
⑱	レール(下)	40×20×120 mm mm cm	4		50	レール 継手		4	
⑲	レール(下中)	40×20×179 mm mm cm	2		51	戸当り板		2	
⑳	スプリング	200 cm	24		52	パッカー	25mm用	16	
E ケース					53	パッカー	22mm用	40	
㉑	後棲パイプ	25×206SP mm cm	5		54	Rバンド	150m	2	
㉒	後棲パイプ	25×68 mm cm	2		55	ターン バックル	3/8×20 cm	2	
㉓	後棲パイプ	25×114 mm cm	2		56	ラセン杭	小	20	
㉔	後棲パイプ	25×143 mm cm	1		57	ボルト ナット	M5×25	32	
㉕	ビニバー	114 cm	2		58	戸車		8	
㉖	ビニバー	142 cm	1		59	取手		4	
㉗	ビニバー	154 cm	3		60	ペリカン	19用	8	
㉘	ビニバー	158 cm	1		61	スパナ		1	
㉙	ビニバー	176 cm	1		62	水系	約100m	1	
					63	スポンジ テープ	4.5×10 cm cm	32	

オリジナル **四季**
ハウス

OH-5710FRD

前後扉 仕様
組立説明書

この度は、当社の商品をお買い上げいただき誠に有難うございます。
この商品の組み立て作業は、成人男性2人以上で行なってください。
組み立てる前に部材一覧表と梱包部材に相違が無いことを確認し(小さい部品の管理に注意する)、『安全上の注意』を良くお読みになり、安全に作業してください。



製造発売元 南榮工業株式会社 〒885-0004 宮崎県都城市都北町5025

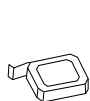
(ケース名) (部品No) (寸法) (数量)

○各組み立て手順の項目ごとに **A梱包 ① 25×310cm 11本** の表示があります

その項目で使用する部材ですので、先ず揃えて下さい。

○各項目ごとに組み立て手順／イラストを一回良くお読みになってから作業を進めてください。

1 必要工具を準備する。



メジャー
(寸法測定用)



ハンマー
(穴開け
つぶし)



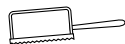
カッター
(バンドカット)



プライヤー
(部品取り付け)



スコップ
(整地)



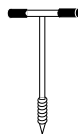
金ノコ、又は、鋸
(部材カット)



マジック
(パイプ印)



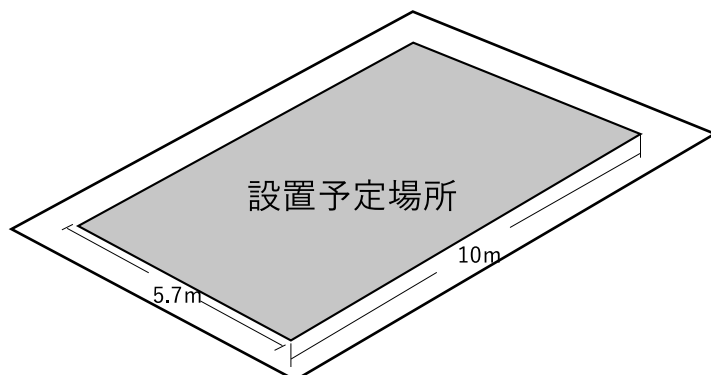
プラスドライバー
(部品取り付け)



穴あけ機や、突き棒など
(地中の穴開け用)

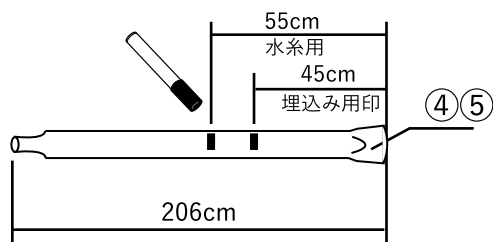
2 整地をする。

作業性を考えて広めに整地してください。

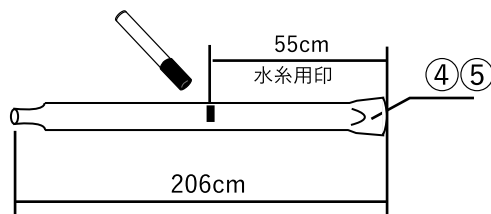


5 脚用パイプに印を付ける。

Bケース ④⑤ 25×206cm 42本



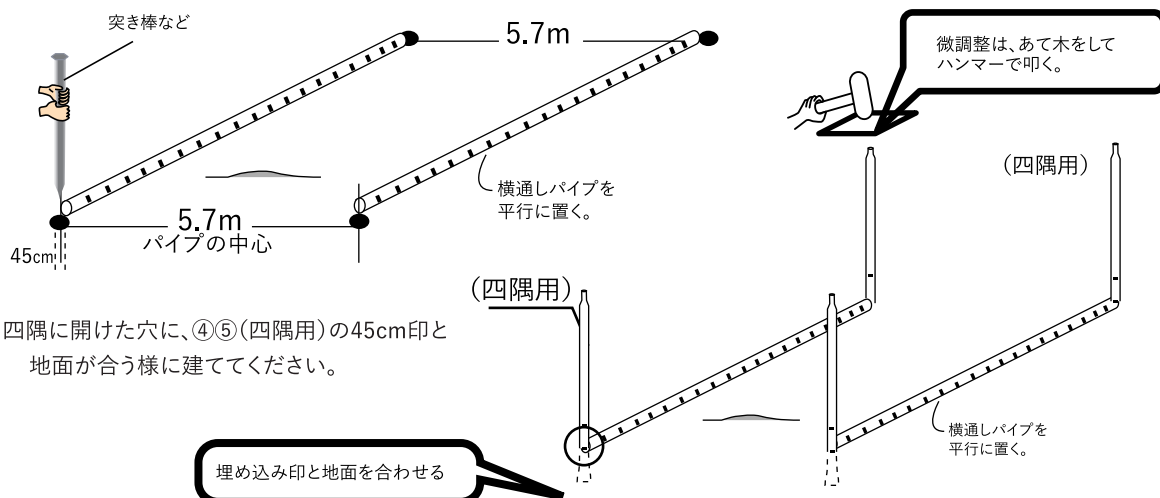
脚パイプ
4本(四隅用)



脚パイプ
38本

6 脚用パイプを建てる

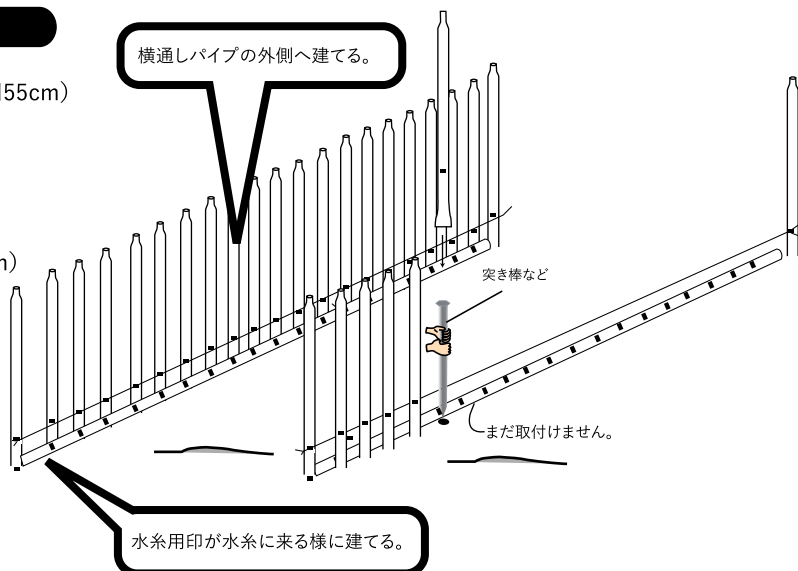
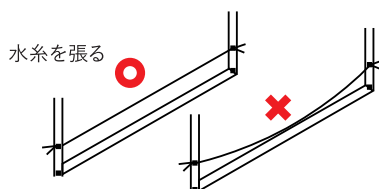
- (1) 継いだ横通しパイプを5.7m間隔(パイプ中心)に平行に置き、四隅に約45cmの穴を掘る。



- (2) 四隅に開けた穴に、④⑤(四隅用)の45cm印と地面が合う様に建ててください。

Eケース ⑥2 水系 1個

- (3) 四隅に建てた脚パイプに付けた印(水系用55cm)に、⑥2を結び付け、張る。
 (4) 横通しパイプに付けた印(50cm間隔)の位置に約45cm穴を掘る。
 (5) 残りの脚パイプを建てる。
 (張った水系と、脚パイプの水系用印(55cm)が、合うように建てる。



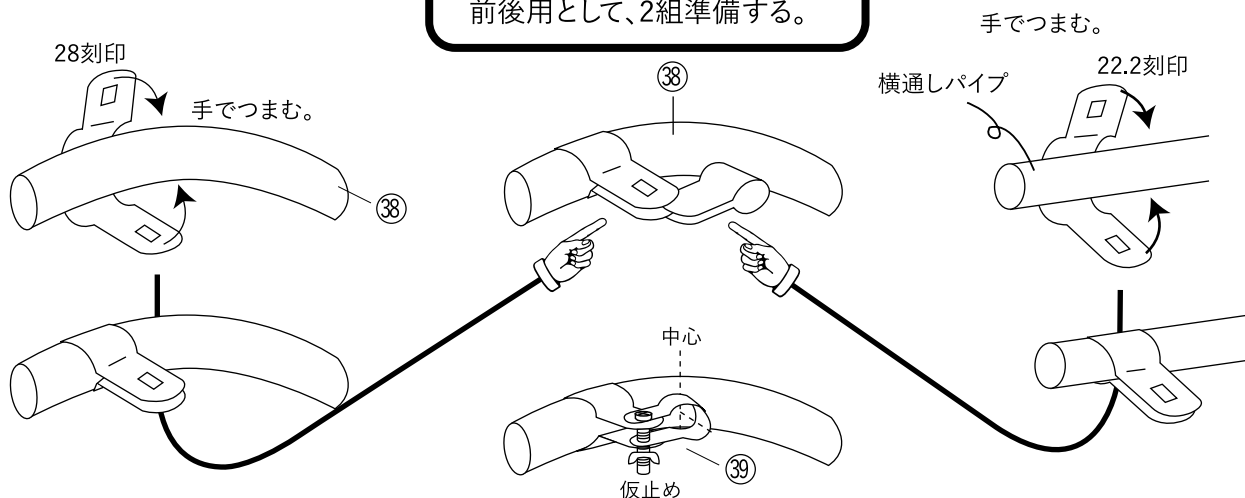
7 外ジョイントに部品を取り付ける。

Gケース ③⑧ 外ジョイント 2本

Gケース ③⑨ Wユニバーサルジョイント 2組

- (1) ③⑨の部品を一旦バラして、③⑧に28(刻印)・横通しパイプに22.2(刻印)を、それぞれ合わせて形を作ってください。
- (2) 形を作った③⑨を③⑧で組み合わせてください。

前後用として、2組準備する。



8 アーチパイプを脚パイプに差し込み、組む

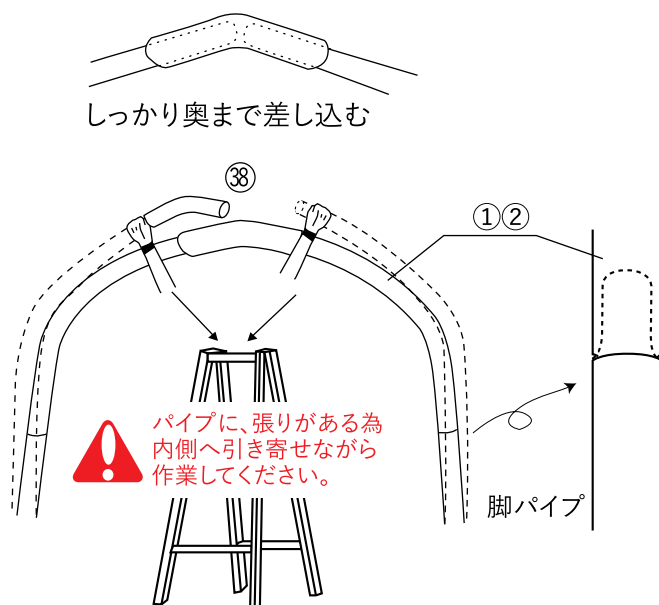
A梱包 ①② 25×310cm 42本

Gケース ③⑧ 外ジョイント 19本

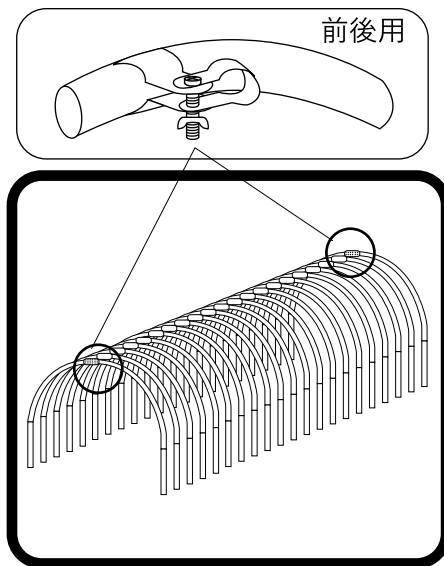
- (1) ①②を下図のように脚パイプに差し込んでください。
- (2) ③⑧を①②に差し込み、継ぐ。7で作った2組は、最前と最後に使用してください。



上から押さえ込む様にとすると、差し込みが失敗した時パイプがハネ上がり非常に危険ですので絶対に上から押さえ込まないでください。



前後用

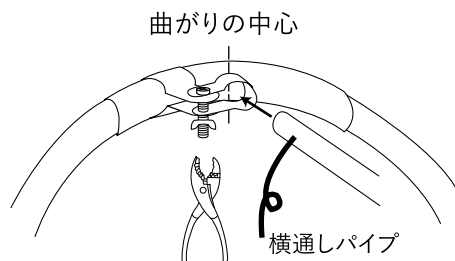
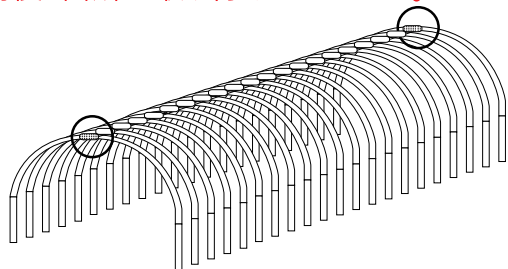


ここまでの完成図

9 横通しパイプを本体内側に取り付ける。

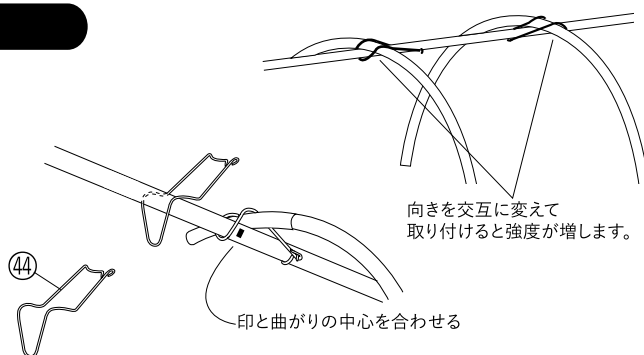
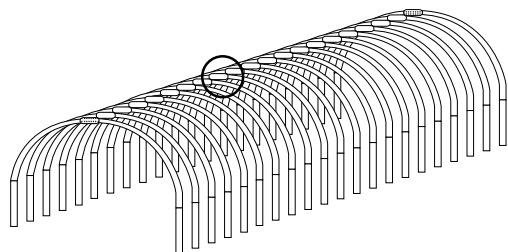
(1) 図の順番に横通しパイプを取り付けてください。

前後2箇所に取り付けてください。



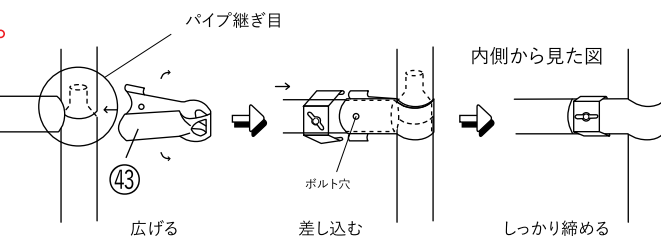
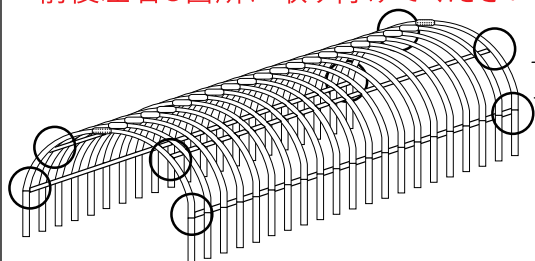
Gケース ④④フックバンド 19個

中19箇所に取り付けてください。



Gケース ④③ Tバンド 8組

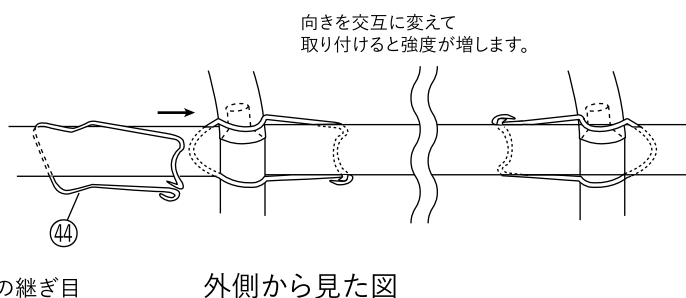
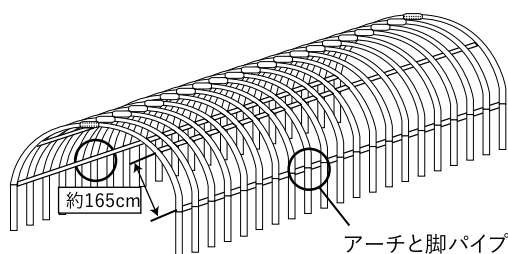
前後左右8箇所に取り付けてください。



ネジ突起部は、内側へ。

Gケース ④④ フックバンド 76個

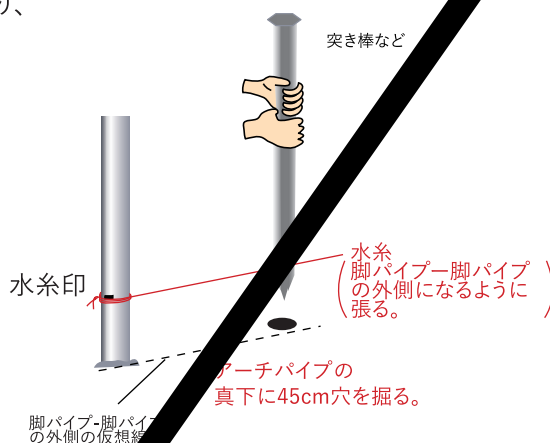
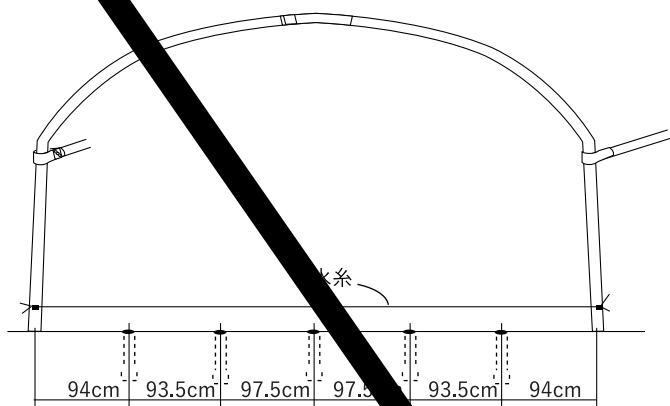
左右中76箇所に取り付けてください。



本体骨組完成

1 後部パイプ組み立て(出入り口ではありません。)

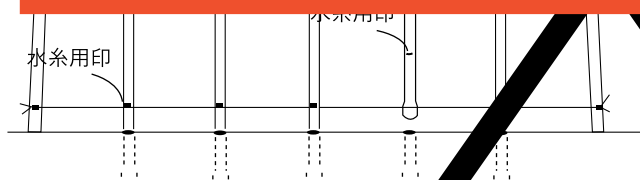
- (2) 下図のように間口両端脚パイプの水糸用印に水糸を張り、
間隔で約45cm穴を掘る。



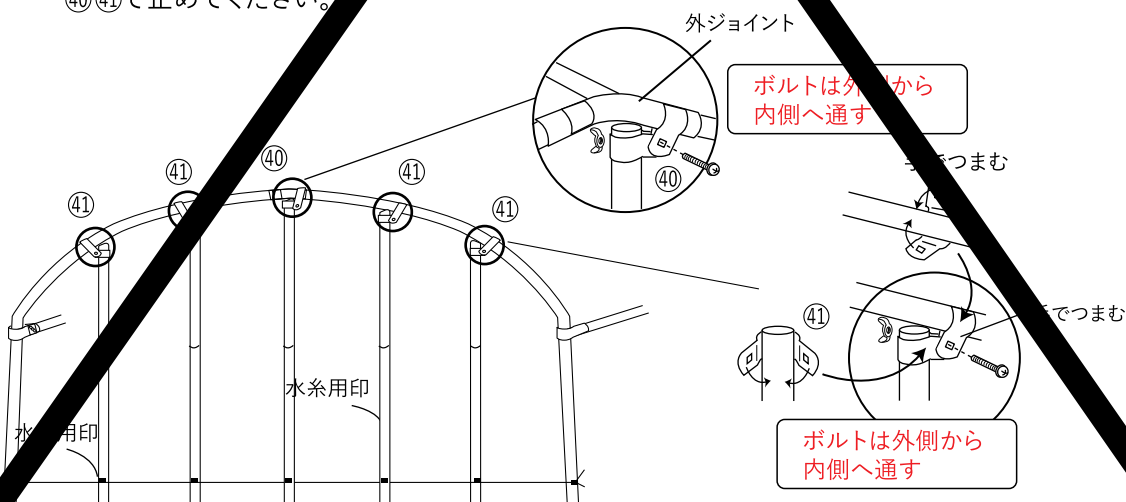
- (3) 組んだパイプの水糸用印と水糸が合う様に建ててください。



後部の組立は必要ありません



- (4) 下図のように、パイプの先端とアーチパイプの接点を
④①④①で止めてください。



1 後部パイプ組み立て(ビニバー取り付け)

Eケース ②⑤ ビニバー 114cm 2本

Eケース ②⑥ ビニバー 142cm 1本

Eケース ②⑦ ビニバー 154cm 3本

Eケース ②⑧ ビニバー 158cm 1本

Eケース ②⑨ ビニバー 176cm 1本

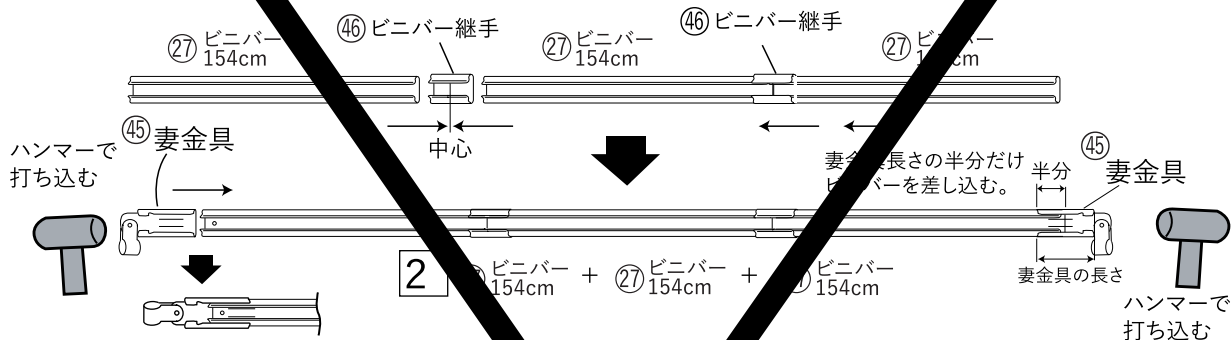
Eケース ③⑩ ビニバー 200cm 6本

Gケース ④⑤ 妻金具 10個

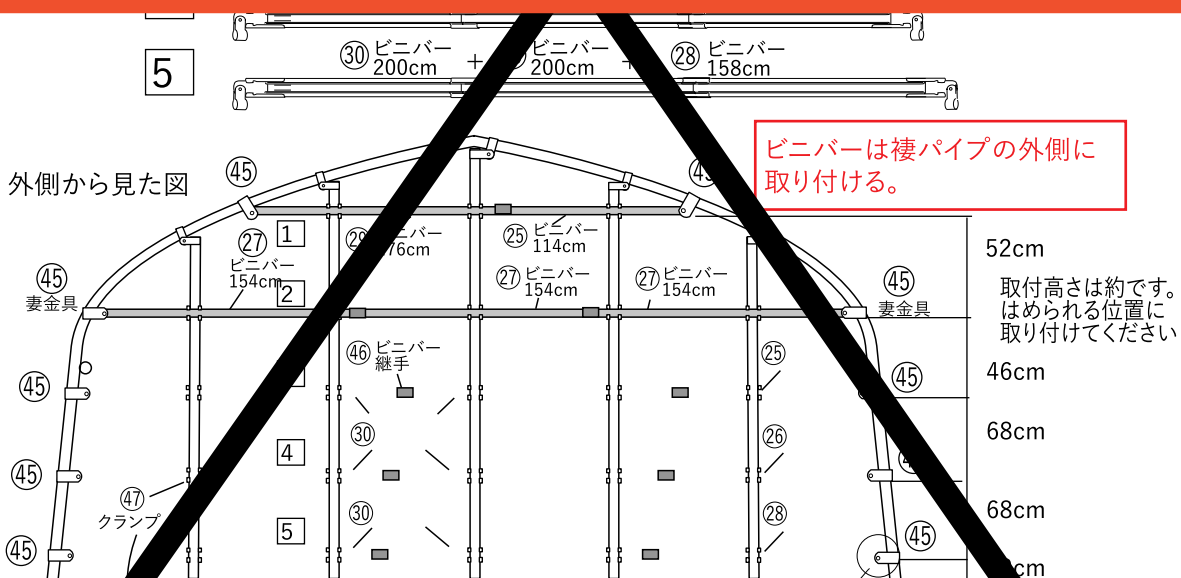
Gケース ④⑥ ビニバー継手 9個

Gケース ④⑦ クランプ 10個

(5) 下図のようにビニバーを組み立てる。(下は ② の例です。)



後部の組立は必要ありません



ビニバーは妻パイプの外側に
取り付ける。

52cm
取付高さは約です。
はめられる位置に
取り付けてください

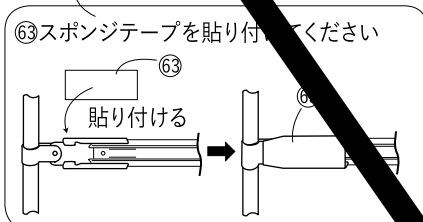
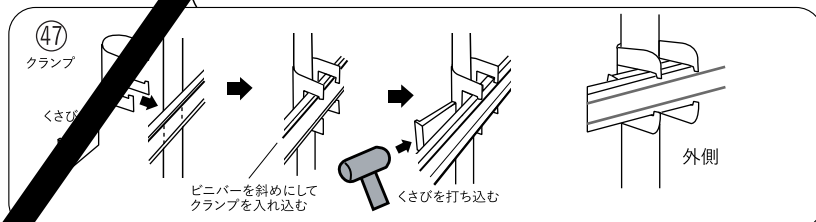
46cm

68cm

68cm

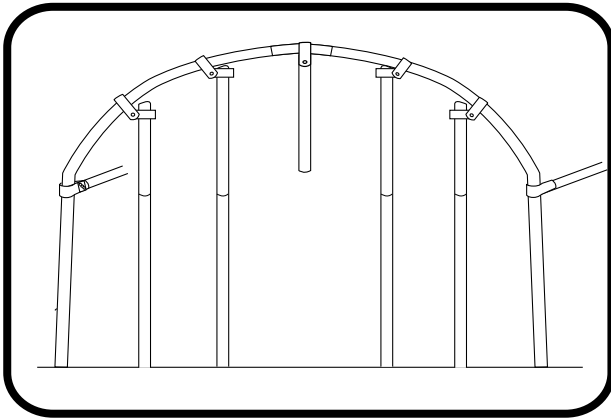
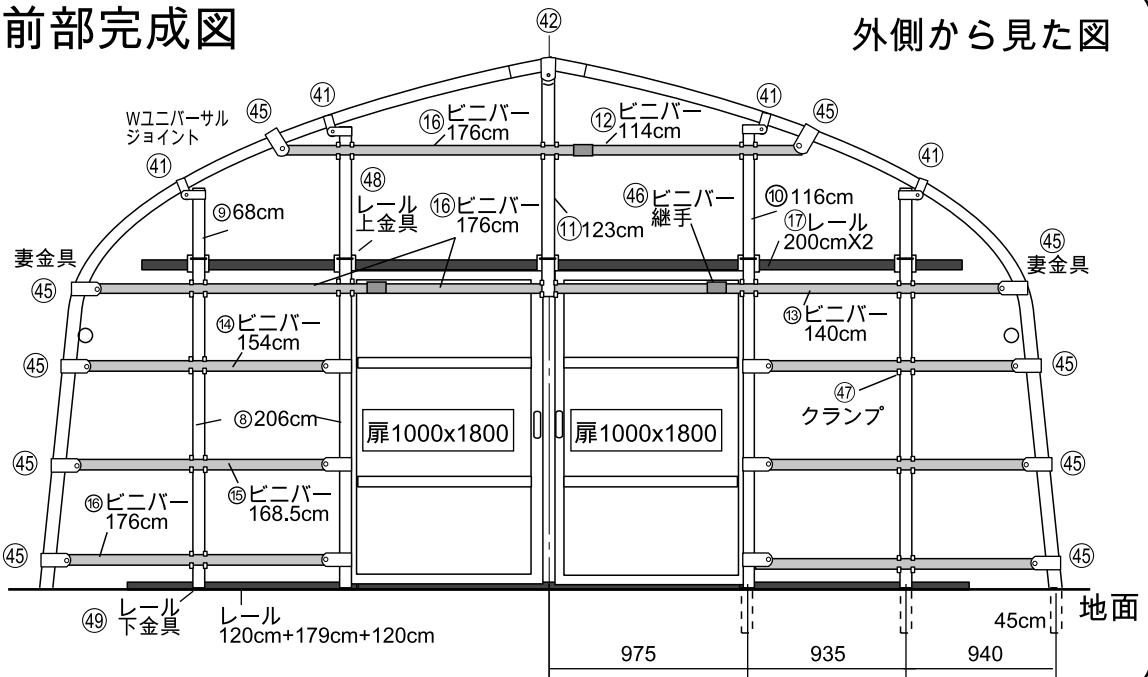
cm

ビニバーと後妻パイプが交差するところの取り付け手順



13

外側から見た図



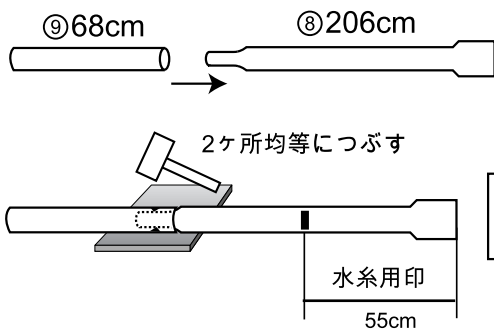
D ケース ⑧ 25×206cm 8本

D ケース ⑨ 25×68cm 4本

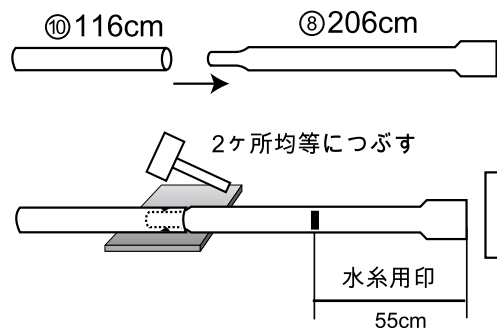
D ケース ⑩ 25×116cm 4本

(1) 下図のようにパイプを継いでください。

※継ぎ目をしっかり差し込み、ハンマーのカドで中心を抜けない程度につぶす。
その時、下に固いものを敷く。



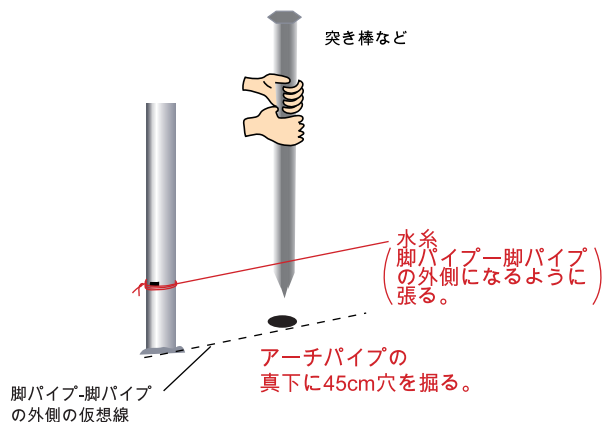
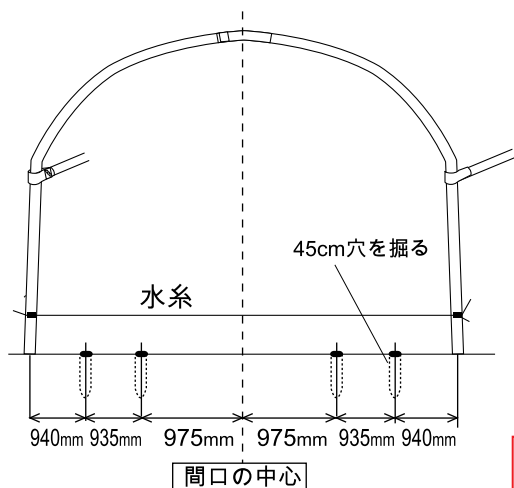
2組
作る



2組
作る

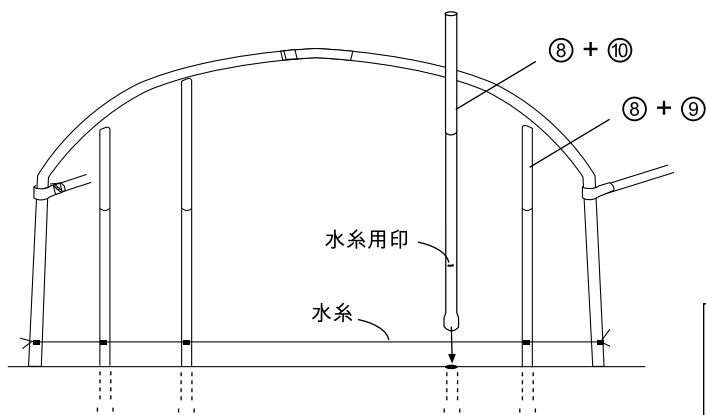
14 前パイプ組み立て(出入り口) つづき

- (2) 間口両端脚パイプの水系用印に水系を張り、間口の中心から975mmの位置に約45cm穴を掘り、下図の寸法で穴を掘る。



正確に作業を行ってください。後にレールを取り付けられなくなったり、扉と⑧、⑨の隙間があいたりします。

- (3) 組んだパイプの水系用印と水系が合う様に建てて下さい。



G ケース ④② ユニバーサルジョイント 28 2個

G ケース ④① Wユニバーサルジョイント 25×25 8組

D ケース ①① 25×123cm 2本

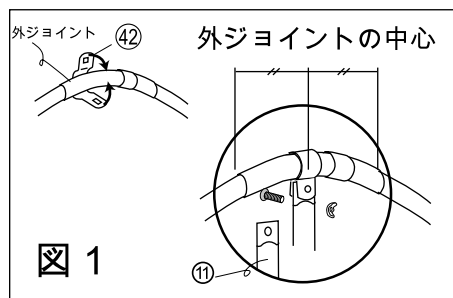
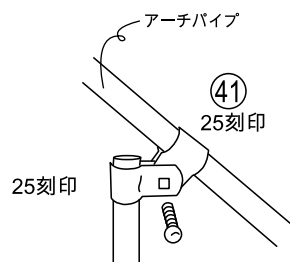
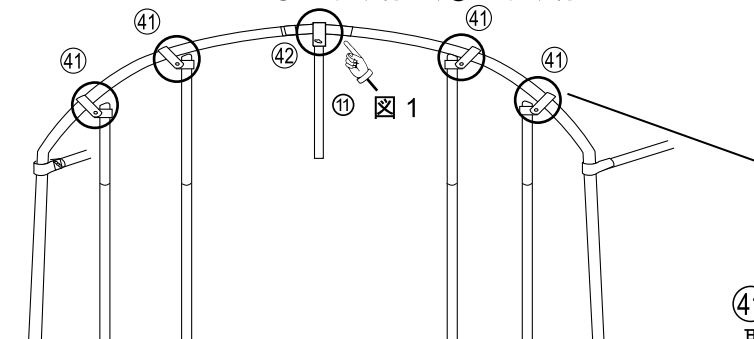


図 1

- (4) ⑨⑩の先端部とアーチパイプの接点を④①で止めて下さい。
次に外ジョイントに④②を取り付け、①①を取り付けてください。(図 1)



④①の部品は、今までの要領で取り付けて下さい。

15 前部に下レールを取り付ける。

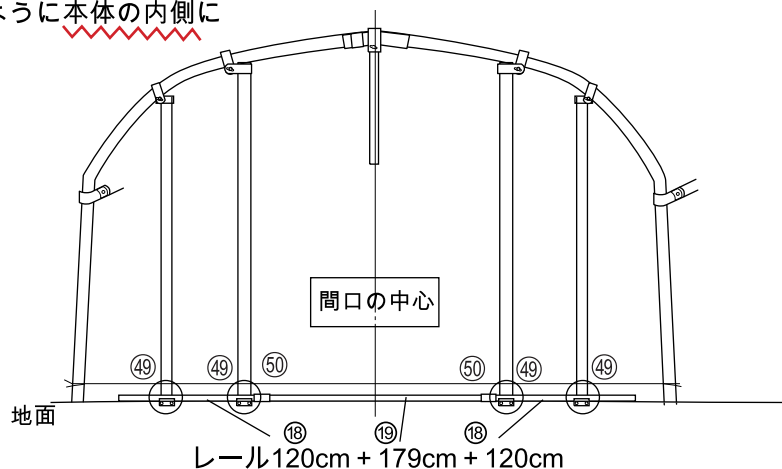
Cケース ⑮ レール 120cm 4本

Gケース ④⑨ レール下金具 8個

Cケース ⑰ レール 179cm 2本

Gケース ⑤⑩ レール継手 4個

レール⑮⑰を図のように本体の内側に
取り付けます。



(1) レール下金具④⑨を図1のように取り付ける。
このとき、レールが入る程度の仮締めとする。

(2) 図2のようにレール⑮120cmを取り付けた
2つのレール下金具に差し込む。(2箇所)

(3) レール⑮120cmとレール⑰179cmを
レール継手⑤⑩を使って継ぐ。
このときレール⑰179cmの中心が間口の
中心にくるようにする。

(4) 水系とレールの水平を確認し、仮締めした
ナットをしっかり締める。

図1

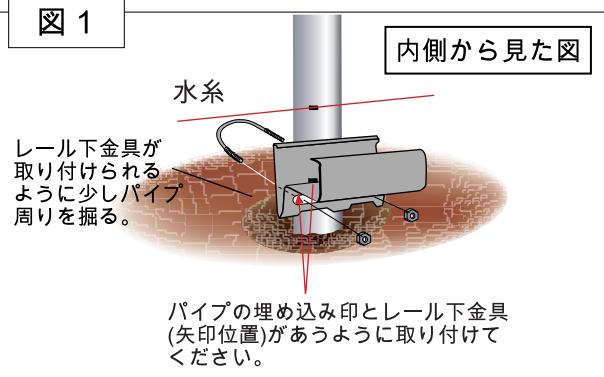
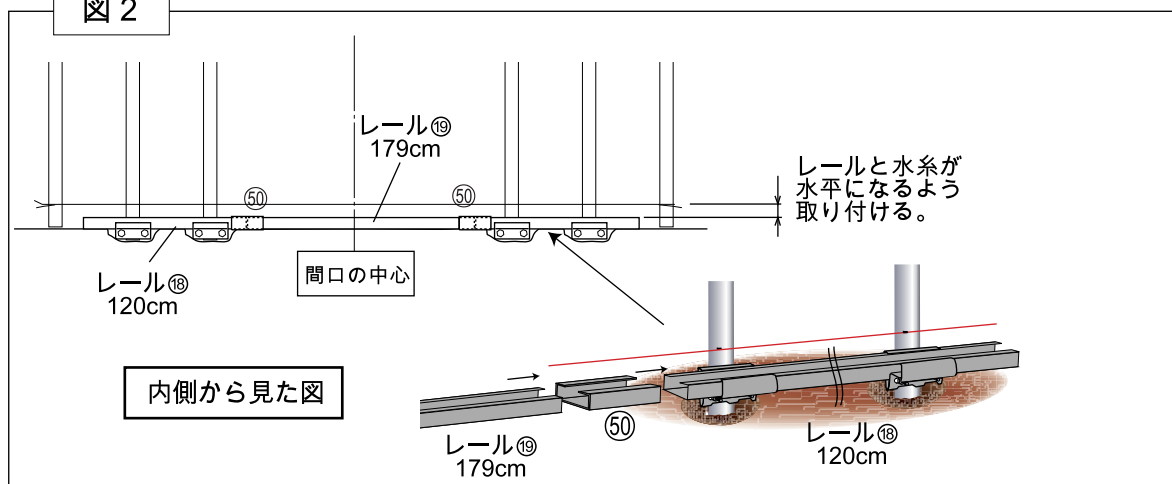


図2

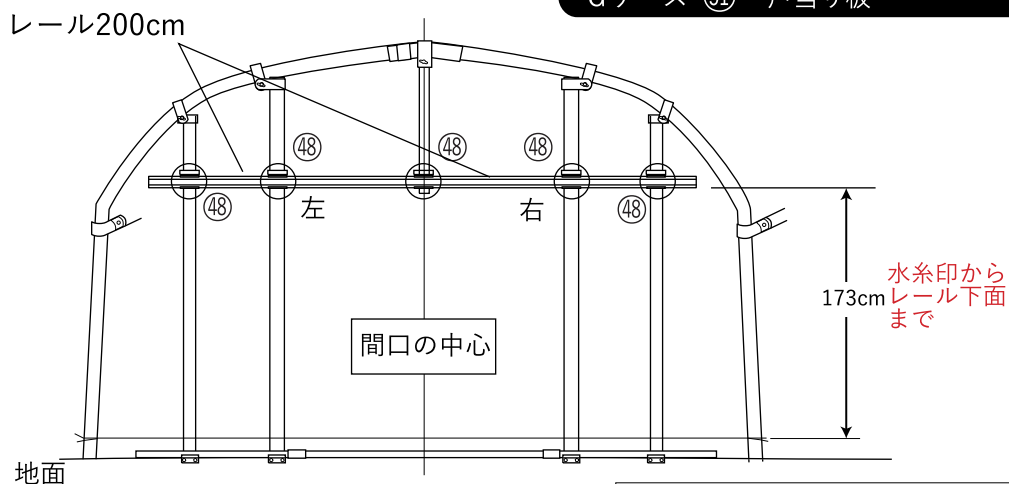


16 上レールを取り付ける。

D ケース ①⑦ レール 200cm 4本

G ケース ④⑧ レール上金具 10組

G ケース ⑤① 戸当り板 2個



前部を内側から見た図

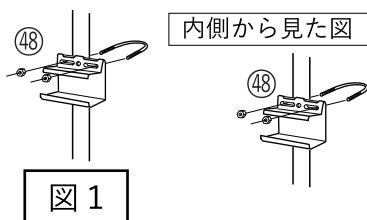


図 1

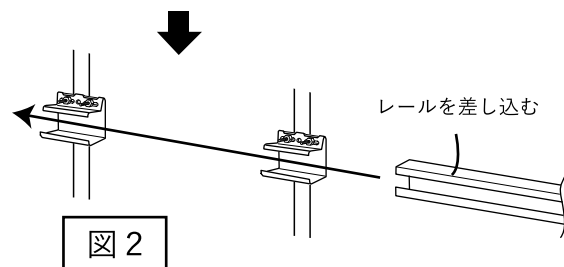


図 2

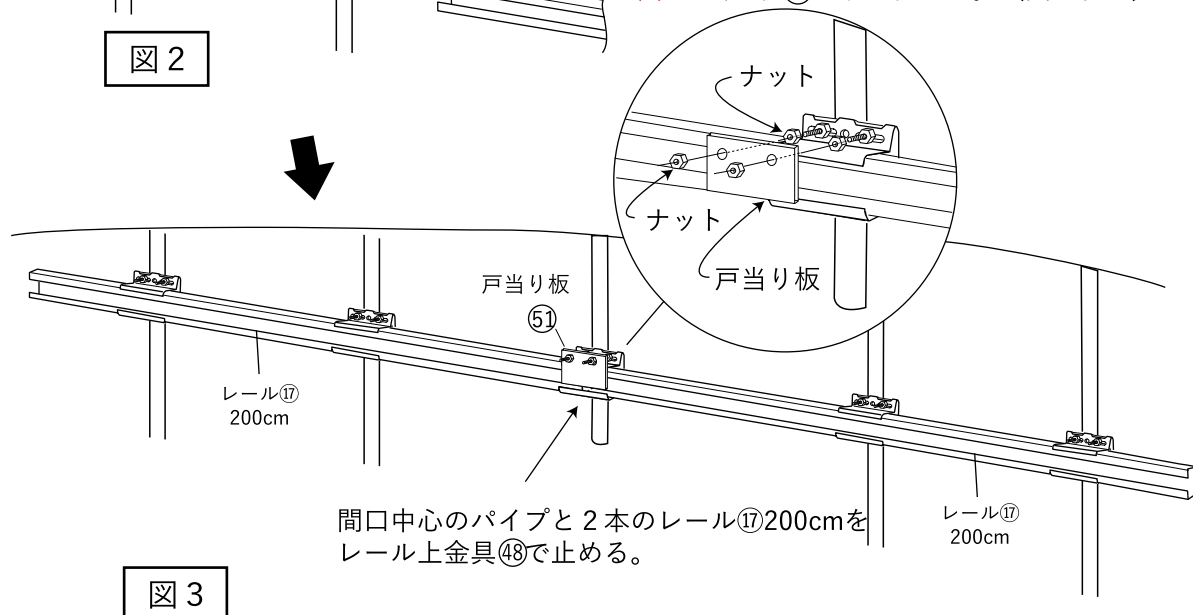


図 3

(1) 上図の高さでレール金具④⑧を取り付ける。
(4箇所) ※ボルトは軽く締めておく。
〔図 1 参照〕

(2) レール①⑦200cmを差し込む。(左右 2箇所)
〔図 2 参照〕

(3) 間口中心のパイプと 2 本のレール200cmを
レール上金具④⑧で止める。〔図 3 参照〕
※下レールと水平になるようにレールを
取り付け、ナットをしっかりと締める。

(4) 戸当り板⑤①を取り付ける。〔図 3 参照〕

間口中心のパイプと 2 本のレール①⑦200cmを
レール上金具④⑧で止める。

17 ビニバーを取り付ける。

D ケース ⑫ ビニバー 114cm 2本

D ケース ⑬ ビニバー 140cm 2本

D ケース ⑭ ビニバー 154cm 4本

D ケース ⑮ ビニバー 168.5cm 4本

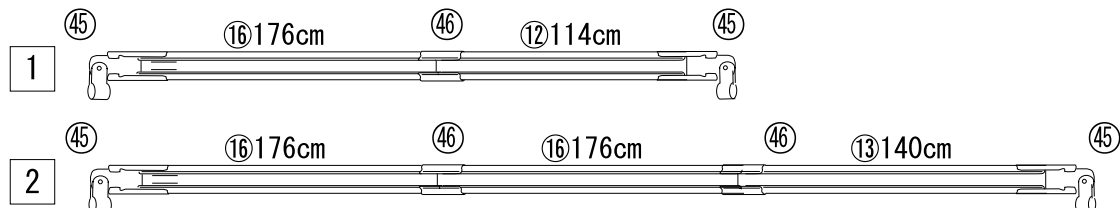
D ケース ⑯ ビニバー 176cm 10本

G ケース ④⑤ 妻金具 32個

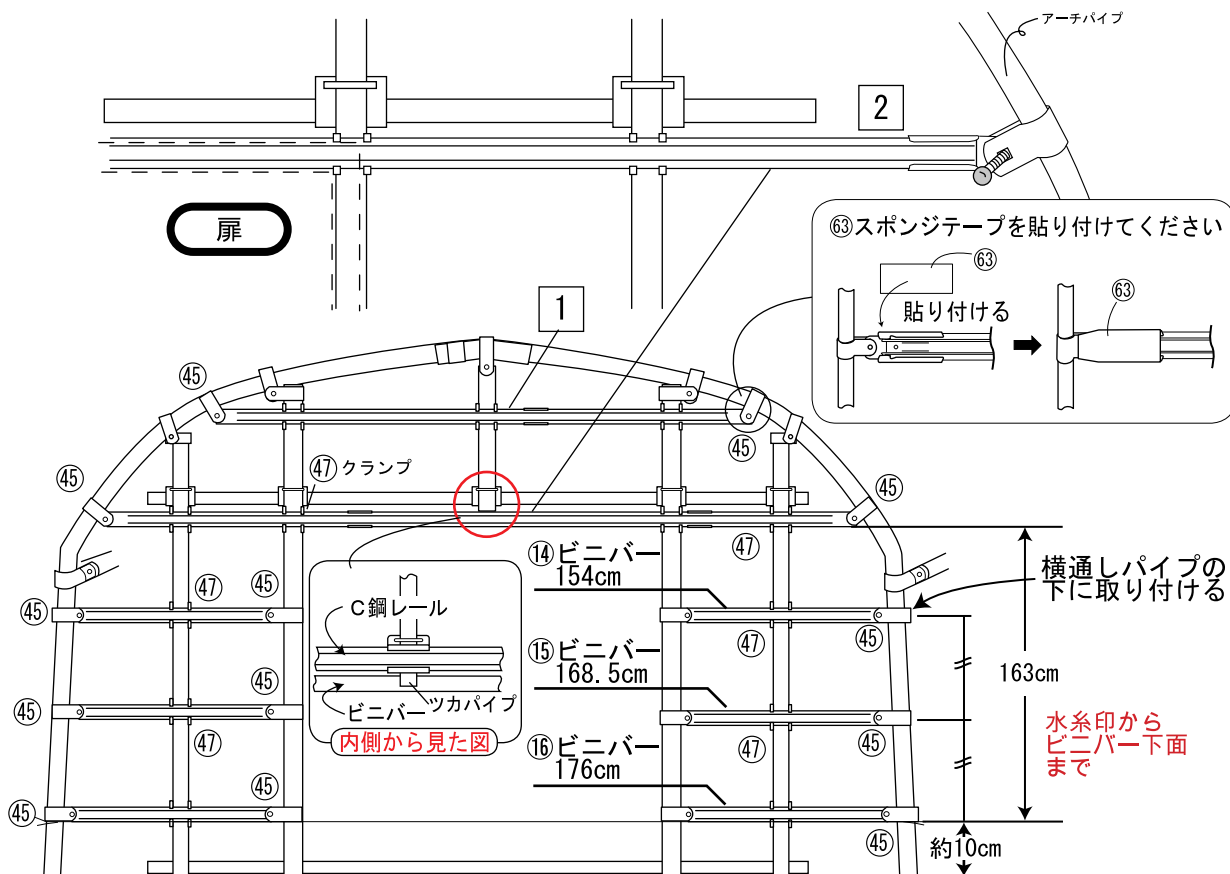
G ケース ④⑥ ビニバー継手 6個

G ケース ④⑦ クランプ 28個

(1) 今までの要領で下図のようにビニバーを組み立てる。

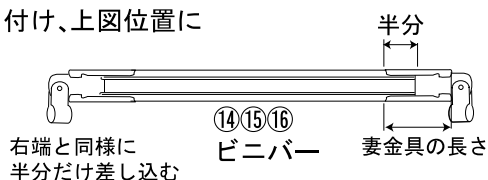


(2) 組み立てたビニバーを扉の上パイプ部が隠れる程度に取り付けて、ビニバーの両端とアーチパイプとの接点を止める。



(3) ⑭⑮⑯ビニバーに妻金具を取り付け、上図位置に取り付けてください。

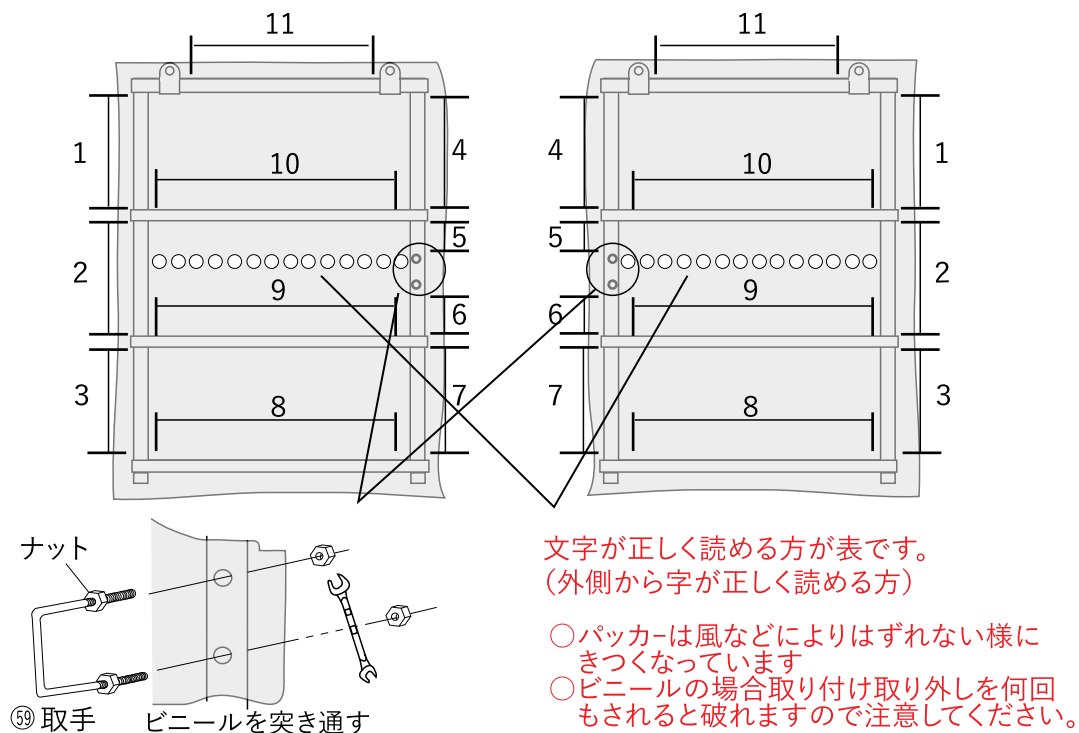
(4) ④⑦クランプを今までの要領で取り付けてください。



妻金具長さの半分だけビニバーを差し込む。

19 扉を組み立てる。(つづき)

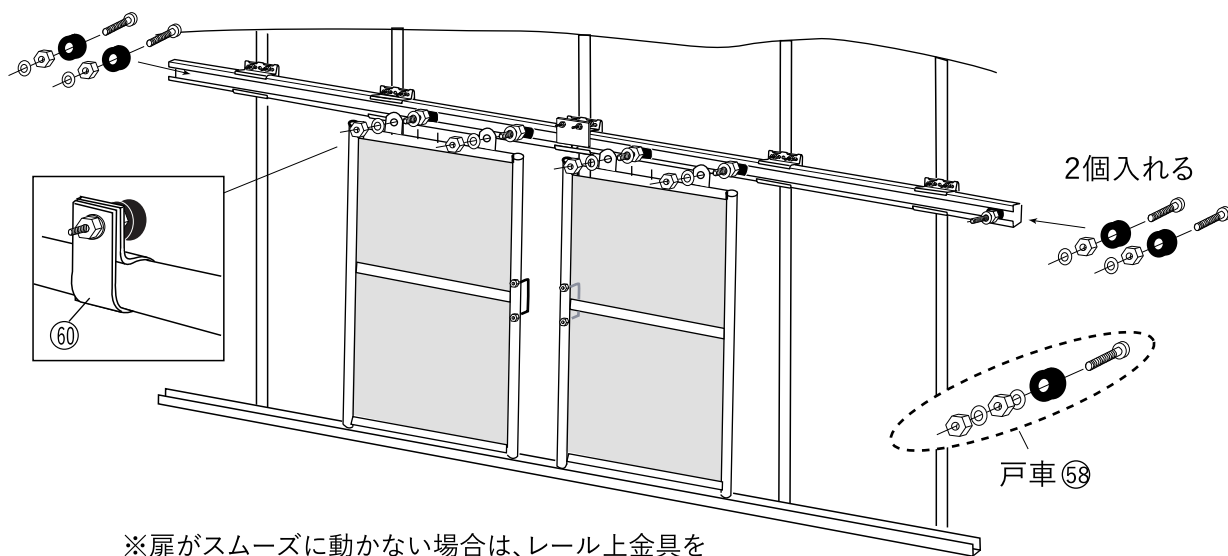
③1



20 扉をレールに取り付ける。

Gケース ⑤8 戸車

2個入れる



※扉がスムーズに動かない場合は、レール上金具を調節してください。

21 側ビニールを張る。

F ケース

③⑥

側ビニール

G ケース

⑤③

パッカー22用

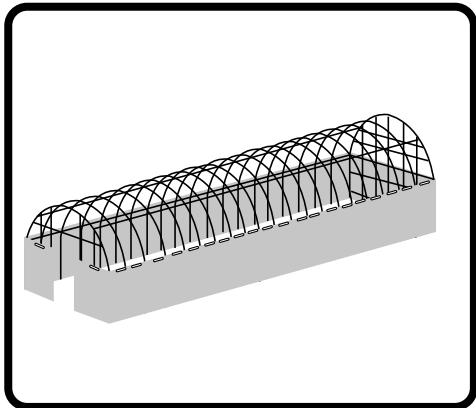
40本

G ケース

⑤②

パッカー25用

16本



作業する前に、周辺を整理してビニールが傷つかない様に注意してください

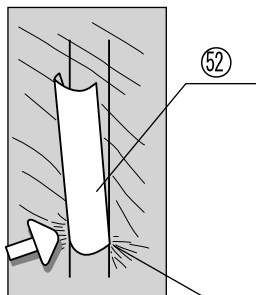


ビニールを引っ張る際は、傷つきやすいので引きずらないようにしてください。



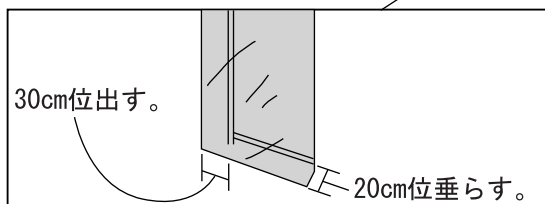
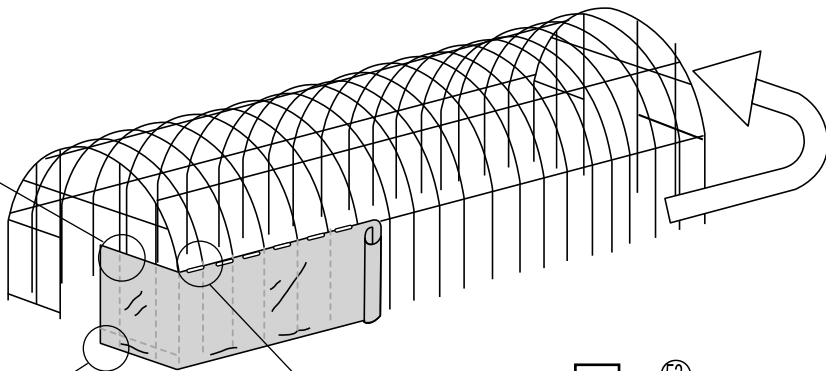
⑤② ⑤③は1回で取り付ける様に止めて
(何回もやり直すとビニールが破けます。)

完成予定図



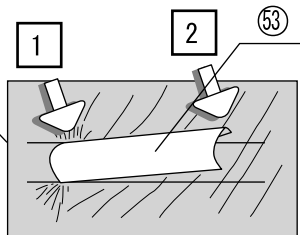
前は全てをはめずに、
片方だけ差し込み、
仮止めにする。

ビニール全体を均一な力で引っ張りながら、各パイプの間の
横通しパイプにパッカーで取り付ける。

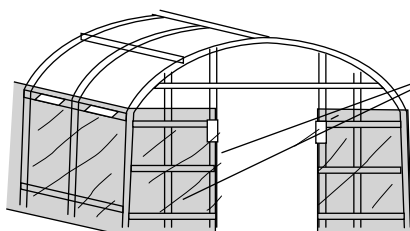


30cm位出す。

20cm位垂らす。

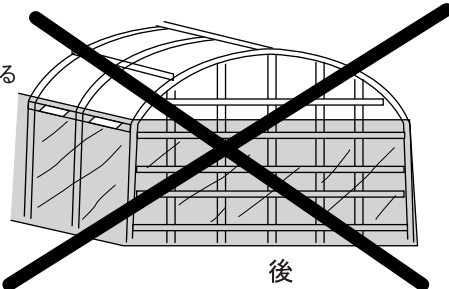


横通しパイプに、斜めに差し込む



前 (仮止め)

約15cm残し切り取る



後

22 天ビニールを被せる。

Dケース

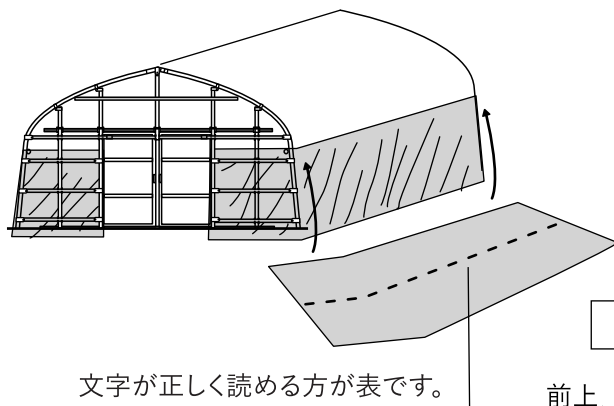
②0

スプリング

Eケース

③5

天ビニール



作業する前に、周辺を整理してビニールが傷つかないように注意してください。



ビニールを引っ張る際は、傷つきやすいので引きずらない様にしてください。



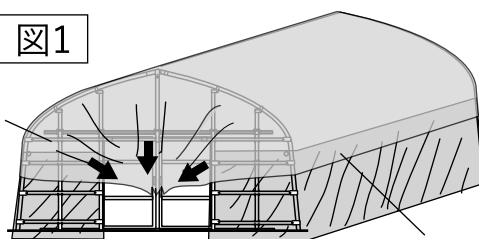
風の強いときは、思わぬ力で引っぱられますので作業しないでください。

文字を中心に持ってくる。

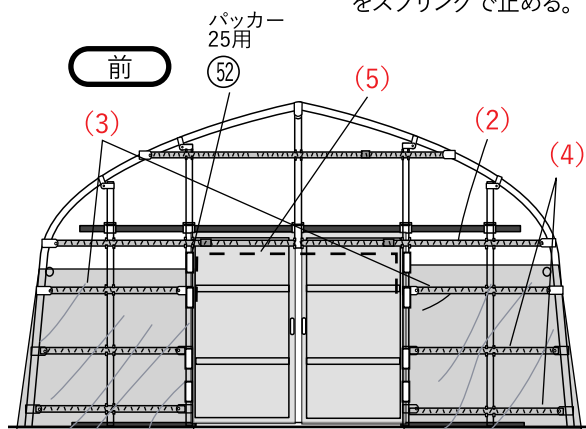
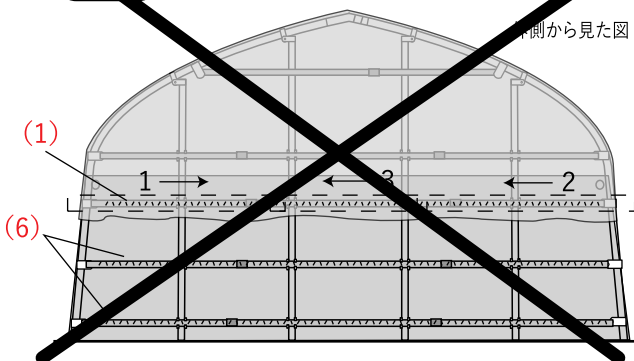
後

図1

前上



この重なり部分を左右同じにする。



- (1) 前後左右のかさなり部分を確認しながら、後の点線部分を天ビニールと側ビニールを一緒に②0でとめてください。

※3本使いますが、両サイドを先に止め真中は3山くらい重なるように止めてカットしてください。

- (2) 前の方に天ビニールをピンと張りながら、同様に、前上を止めて下さい。〔(図1)と上図〕

- (3) 前の方の扉横上のビニバーに、天、側ビニールをスプリングで止めてください。

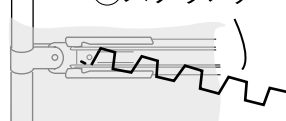
- (4) その他の扉横ビニバーをスプリングで側ビニールを止めてください。

- (5) 前の扉部は、15cm位残して切り取りパッカーでとめてください。

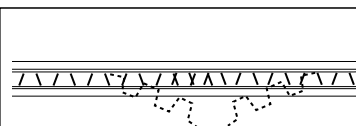
※前後の天ビニール下端部は、特にそのままでも構いませんが、切り取られる際はケガ・切りすぎ等にご注意下さい。

- (6) 後の残り部分のビニバーをスプリングで側ビニールをとめてください。

②0スプリング

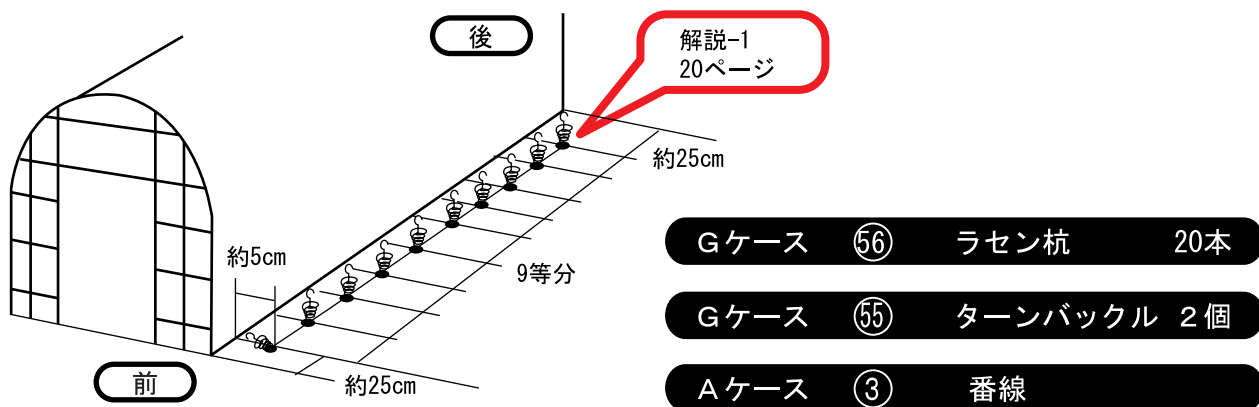
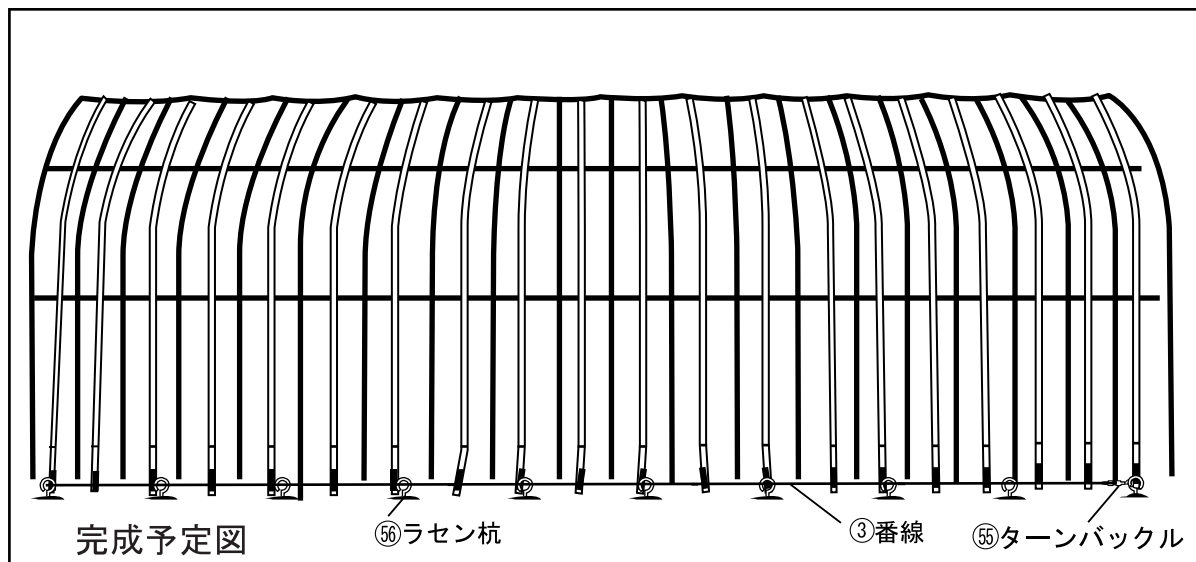


スプリングを斜めにしてビニバーにはめこんでいく



スプリングが変わるところは重ねて止める

23 ラセン杭をねじ込む。



先ず片方の説明をしますので(1)～(6)まで終わりましたら同じ要領で反対側も作業してください

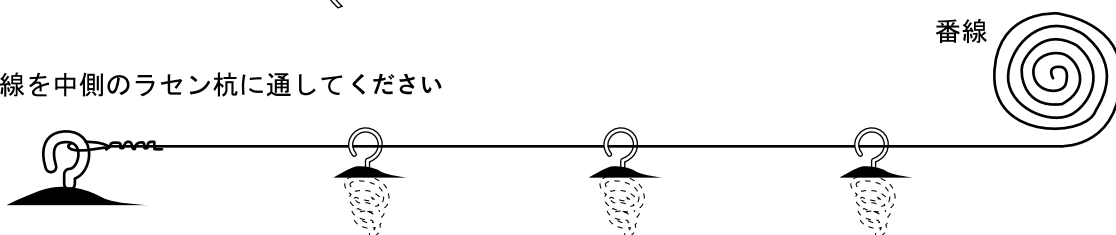
- (1) ラセン杭を、上図の位置にねじり込んでください (解説-1 20ページ)
- (2) 端のラセン杭に、③番線を引っかけてしっかり止めてください



折り返し等を長めにとると、もう片方の長さが
足らなくなりますので注意してください



- (3) 番線の中側のラセン杭に通してください



(4) ターンバックルを、片端のラセン杭に引っかけてください

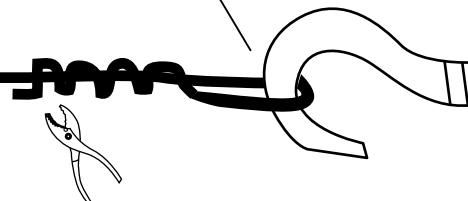
取り付けの際に、最大に近い所まで広げてください



(5) ターンバックルに③番線を引っかけてしっかり止めてください



番線をピンと張って止める。



(6) 弛めておいたターンバックルのネジ部を締めてください

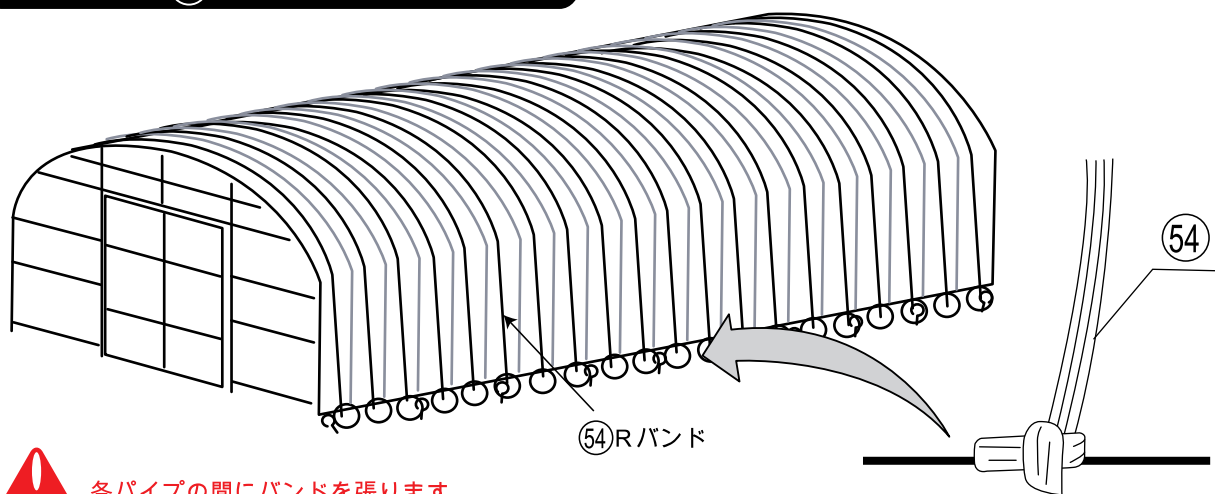


番線がピンと張る位に。



24 ビニールを押える。

Gケース ⑤4 Rバンド



各パイプの間にバンドを張ります。

※ バンドは定期的に締め直してください。

※ 反対側も同様に結んでください。

カラー番線に直接結ぶ

■商品を末永くご愛用していただく為にも下記事項をお読み

■規格等が分かるように、全ての用紙を保管してください。

●ビニールについて

- ビニールを燃やすと、有毒なガスが発生しますので絶対に燃やさないで下さい。
- 側ビニールを巻上げたままにしておくと、下ろす際にくっついて破れる事がありますので注意してください。
- 替ビニールの販売もしています。

●パイプについて

- パイプは、特殊亜鉛メッキ加工を施してありますが、長年ご利用されていると切り口等から錆びが発生します(設置条件で年数は変わります)ので、そのまま使用されると接触したビニールが破けますので、錆び付いたパイプ(部品含む)は、交換してください。

●バンドについて

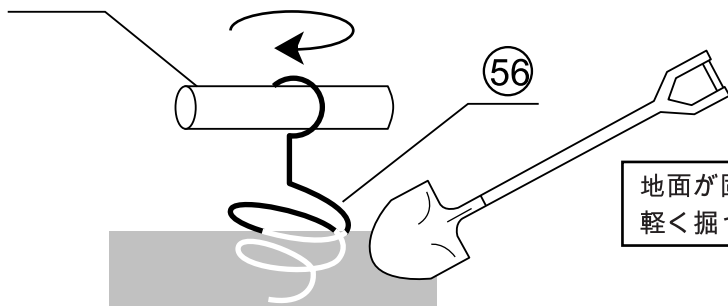
- 長年ご利用されていると老朽等により裂化します(設置条件で年数は変わります)。そのまま使用されると接触したビニールが破けますので、裂化したバンドは交換してください。

解説- 1

Gケース ⑤⑥ ラセン杭 20本

ラセン杭に硬い棒などを通して、ねじ込む。

硬い棒など



地面が固いときは、スコップであらかじめ軽く掘ってから、ねじ込む。



両端の杭は中側へ向かって斜めにねじり込む

